

努力事項解説 その2 （小学校特別活動）

活動内容（1）「学級や学校の生活づくり」の内容を十分展開するために課題とされていることについて、どのようにしていけばいいか考えてみます。

十分展開するために、次の課題を解決していきましょう！

6 議題を子どもたちが決めていますか？

議題は、自治の範囲内において、**児童が決めるもの**です。教師は、適切な議題が提案され、学級会が児童の手によってしっかり運営できるように、**指導していきましょう**。

学級会は、学級活動の活動内容（1）の共通事項の「ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決」の内容の中心です。活動内容（1）は、自発的、自治的な活動ですから、学級会で話し合う内容である「議題」については、自治の範囲内で児童が決めることになります。

ただし、教師は、適切な議題が適切な手順で選ばれ、学級会が民主的に運営されるよう、児童を指導していかなければなりません。

「適切な議題」の条件は、以下のとおりです。参考にしてください。

- ① 児童の発達の段階にふさわしい問題
 - ② 教育的に望ましいと認められる問題
 - ③ 児童自らが気付いて、児童が関心を持てる問題
 - ④ 学級の児童全員が協力して取り組まなければ解決できない問題
 - ⑤ 児童が解決策を実践することが可能な問題
- ※ 自治の範囲内であることが前提です。

「適切な手順」は、以下のとおりです。参考にしてください。

- ① 個人や係から提案（常時設置されている提案ボックス等へ）
- ② 提案された議題を計画委員会で検討
 - ※ 適切な課題かどうか上記に基づき吟味します。必要があれば提案理由を提案者に確認したりすることもあります。
- ③ 適切な議題であることを確認して、議題として学級会に提案

学級会では、このようにして提案された議題を全員で話し合って、解決策を決定し、それを全員で実践することになります。



次回は、7の「議題ポスト等に、常にいくつかの議題案が入っていますか？」
について考えていきます。

7月26日（金）頃アップの予定です。